

2011年9月30日

各位

「ケーブルテレビ・アワード 2011」結果発表について

社団法人 日本ケーブルテレビ連盟
株式会社イード

社団法人 日本ケーブルテレビ連盟（東京都中央区、理事長：西條 温）と株式会社イード（東京都中野区、代表取締役：宮川 洋）は9月27日、「ケーブルショー2011」（会場：東京ドームホテル 主催：(社)日本ケーブルテレビ連盟／(社)日本CATV技術協会／(社)衛星放送協会）にて、「ケーブルテレビ・アワード 2011」の結果を発表しました。

ケーブルテレビ・アワードは、各地で地域の放送インフラを支えるケーブルテレビ事業者を対象に、年1回、サービスやプロモーション活動を表彰するアワードで、今年で4回目となります。

今年は、7月24日の地上アナログ放送の終了※1にともない、デジタル放送やデジアナ変換に関するエントリーが多かったのが特徴で、プロモーション大賞部門のグランプリ「デジタル見るなら・・・」（伊万里ケーブルテレビジョン株式会社）は、デジタルサービス用のセットトップボックス（STB）および録画対応STBをアピールする内容で、登場する子どもが印象的なCM作品です。

また、ベストプラクティス部門のグランプリ、CATV番組交流ネットワーク「ぐるぐる中四国」「ぐるぐる関西」（代表幹事会社 尾道ケーブルテレビ株式会社）は、ネットワークに参加する21社のケーブルテレビ会社が、各ケーブルテレビエリア内の観光情報番組をそれぞれ制作、番組交換ネットワークを用いて、ネットワークに参加する他局へ配信しあうというもの。他の地域に観光情報を発信することができるということで、自治体の観光行政からも期待される活動となっています。

主な結果は以下の通りです。

■プロモーション大賞部門

グランプリ： 「デジタル見るなら・・・」（CM）

伊万里ケーブルテレビジョン株式会社

準グランプリ： 「デジアナ変換サービス」(チラシ)
ひまわりネットワーク株式会社

■ ベストプラクティス大賞部門

グランプリ： CATV 番組交流ネットワーク「ぐるぐる中四国」「ぐるぐる関西」
代表幹事会社 尾道ケーブルテレビ株式会社

プロモーション大賞 受賞作イメージ：

グランプリ「デジタル見るなら・・・」 伊万里ケーブルテレビジョン株式会社	準グランプリ：「デジアナ変換サービス」 ひまわりネットワーク株式会社
	

※1 岩手県、宮城県、福島県を除く

別紙資料： ケーブルテレビ・アワード 2011 受賞者・受賞作品一覧 (PDF)

(以上)

■ 本リリースに関するお問い合わせ

株式会社イード

担当： 西村

広報担当 伊藤 E-mail：pr@iid.co.jp

〒164-0011 東京都中野区中央 1-38-1 住友中野坂上ビル 16 階

TEL：03-6304-0091 / FAX：03-5332-5760

社団法人 日本ケーブルテレビ連盟

担当： 岩田

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-12-5 京橋 YS ビル 4 階

TEL：03-3566-8200 / FAX：03-3566-8201

E-mail：renmei@catv.or.jp